

識別法について

—ウトナイ湖における識別研修会から—

オオハクチョウとコハクチョウの野外識別の方法

堀内盛一

近年になって我国の各地でコハクチョウの渡来が確認されるようになるにつれ、オオハクチョウの野外識別が愛鳥家に広く知られるようになり、両者の越冬地や渡りのコースなど生態が解明されつつある。この時期に少しでも多くの方々に両者の野外識別を知って頂くことは誠に有意義であり3月27・28日の両日のウトナイ湖（北海道）において開催された日本白鳥の会例会は時宜を得たものである。この席上で諸先生方が居られるにもかかわらず、私自身の恥をも顧みずお話し申し上げたオオハクチョウとコハクチョウの野外識別の方法を略記させて頂く。

まず、嘴峰側面についてみると、オオハクはコハクに比べ黄色部が大きく、黄色部がオオハクは嘴峰先端に向って鋭角に切り込んでいるのに反しコハクは小さなギザギザの切り込みのあるもの鈍角をなしているものなどがあるが全体として嘴峰先端に向って丸みをおび、この黄色部がオオハクは鼻孔に達しているがコハクは達せず、図においてオオハクは $A \leq B$ （ $A=B$ の例は極めて少ない）でコハクは $a > b$ である。また、コハクは額（図のe）の部分がふくらんでいる。

次に嘴峰上面をみると、オオハクの多くは嘴峰先端から黒色、黄色そして羽根の白色へと移行している。しかし、黒色がY字型に白色部に連結しているもの、白色部にそって三日月型の黒色部がある。いわゆる嘴峰先端から黒・黄・黒・白となるもの、Y字型又は三日月型の黒色部が途中で消

えているものなどがあるが黒色からいきなり白色になるものはオオハクにはいなくコハクのみである。コハクの黒色・黄色・白色の移行模様はさらに複雑である。

では、嘴峰下面をみると、オオハクはコハクに比べ細長く、一方、コハクは嘴峰先端にふくらみがある。オオハクとコハクとも黒色の中にあんこが入ったように黄色部があるが、オオハクは全て黄色部があるが、コハクは一部又は全部黒色部のものもいる。

さて、体型、浮上姿勢についてみることにする。これは、遠距離の場合や逆光の場合など嘴峰による識別が不可能な場合に用いる程度にとどめるべきと考える。つまり、寒さのため羽根をふくらませている場合とそうでない場合との体型は大きく変わることや浮上姿勢と言っても現に行なおうとしている行動によって変化することからであり、識別のためにはかなりの熟練を要する。

その1 頭部に対する目の位置について図において $\frac{D}{C} < \frac{d}{c}$ である。

その2 腮、喉、首（図のF及びf）にかけての曲りは、オオハクは曲線的に曲り、コハクは直角的に曲っている。

その3 オオハクの首は細めで長く（図において脚の羽根の生際から垂直線をG線として、頭部を背に向って倒すと頭部はG線を越える位の長さに見える。）コハクは短かめで太い。（上記と同様にした場合、頭部はg線を越えない位の長さに見える。）

その4 コハクの胸はオオハクのそれに比べ丸い感じ(図において $\frac{I}{H} < \frac{i}{h}$) に見える。

全体としては名のとおりオオハクはコハクより大きいことは論外であるが、オオハクのうち小さな個体はコハクのうちの大きな個体より小さいものがある。

また、鳴き声による識別があるが、警戒の時、餌に集まる時、上空を飛んでいる個体に向かって休息している個体が鳴く時、喧嘩の時などにより聞える声がまちまちであり私は識別が出来ないので文献から抜萃させて頂く。「野外観察用鳥類図鑑」日本鳥類保護連盟によると、「オオハクはコオーコオー、あるいはオホー、オホーという高い大きな声で、遠方からよく聞こえる。コハクはホオッホオッまたはコオッ、コオッと聞える事で、オオハクよりも短く低い声。」としている。

「日本鳥類大図鑑」清棲幸保氏によると、「オオハクは水上や地上では多数の鳥が互いに頸を延

ばして打ち振りながらホッホ、ホッホ、ホッホと喇叭に似た様な声で啼き、飛翔中にはグァーン、グァーン又はグワウコー、グワウコーと啼く。コハクは地上や水上ではホッ、ホッ、ホッと盛んに啼き、飛翔中にはグァーン、グァーンと啼く。」としている。

「最新日本鳥類図説」内田清之助氏によると、「コハクは通常ホーッホーッと低音に鳴くが群棲するときにはグァーングァーンとガンに似たやかましい音で鳴き合う。

柳沢紀夫氏からの私信によると、「高い大きな声でコオーコオーやるのはオオハク、低目で太いホッホッという感じできかれるのがコハク。」としている。

以上、オオハクとコハクの野外識別の方法を記したが、これは私の感によるところもあり普遍妥当性の面から問題なしとはしない。先輩諸氏の御指導と現地観察者の御教示をお願いする。

